

サロン 登美ヶ丘茶論(22)

2021年10月



右から令和山本、立民枝野
共産志位、社民福島の各氏



四野党共通政策に調印

◆ 岸田新総理誕生ー3A体制の確立

1カ月に及びTVジャックによる自民党総裁選ショーのおかげで内閣支持率は「朝日」で45%（不
支持20%）、「毎日」49%（同40%）へ一菅政権末期の26-30%からは、内閣発足直後のご祝儀相場を
見せましたが、2001年以降では最低の支持率だったとか。国会とりわけ予算委員会を開催せよとい
う野党の再三の要求を拒否し、ご祝儀相場をくれる「優しい」国民が覚醒せぬ間に史上最短の選挙
期間で逃げ切りたいという執念から10/19告示、31日投票というこの露骨な党利党略の有り様を見
ただけで、この政権はアウトであることが分ります。

岸田氏が総裁選中に主張して見せた政策は国会の各党代表質問の中で早速トーン・ダウン。例え
ば、総裁選では「新自由主義政策の転換」「新しい資本主義」「成長と分配の好循環」と大見えを切っ
て見せましたが、11日から始まった国会代表質問で早くも中身はアベノミクスの2番煎じ、3番煎
じを露出しています。そもそも岸田氏が6月に立ち上げた「新たな資本主義を創る議員連盟」の最
高顧問が安倍氏と麻生氏、発起人が甘利氏ですから驚きです。「毎日」10/13付は「早くもかすむ岸
田カラー」と題する社説で、総裁選で掲げていた「金融所得課税の見直し」は自民党公約から消え、
結局「大企業や投資家に配慮する党内の声に主張を封じ込められた」、「経済政策で目立つのは危機
管理や成長に関する『大胆な投資』」、公約の作成を仕切った高市氏の下で、「方針がわずか1週間で
立ち消え」になった、と指摘している。「読売」10/1付も「岸田氏『3A』が後ろ盾」と報じましたが、
安倍、麻生、甘利の3Aのガンジガラメの仕掛けで「勝利」した岸田氏の「生まれ変わった自民党」
は初めから底が割れているのです。

首相を議長として財界3トップ（経団連会長、経済同友会代表幹事、日本商工会議所会頭）らで
構成される「新しい資本主義実現会議」が26日に発足する。ヤフー幹部や御用組合「連合」新会長
芳野友子氏もメンバーとか。上記の6月の3A「議員連盟」の「発展」？（Yiさん）

共通政策に合意した市民連合と野党各党党首



「毎日」の「近事片々」から
・溜息しかない。論功行賞と安
倍、麻生両氏への忖度のオンパ
レード。新政権の骨格人事。
・とりわけ、政治とカネの疑惑残
る甘利氏が幹事長。安倍氏らの直
営も過ぎると「安直内閣」と言わ
れますよ。
・広島出身の首相誕生だからこ
そ。オプザーバー参加含め、正面
から向き合ってほしい核兵器禁止
条約。
・「新しい資本主義」とは結局、株
価資本主義なのか。首相、金融所
得課税の見直し「当面さわらぬ」
と早くも後退。
・衆院解散から投票までわずか17
日の日程。公約を浸透させ、有権
者の関心高める発想は全くない
ようだ。（ユウさん）

出馬する前後で主張なぜ変わる

美しい国の真つ黒公文書

「再調査」したらよっぽど困るんや

登美ヶ丘九条の会、この会の専用郵貯口座を来年2022年1月より開設します（世話人一同）

皆様からのカンパや寄付をいただくためです。コロナの為長らく『集い』も『話し合い』も出来ない状態
が続いておりますが、コロナ第6波の状況を見て来春より行事を活発化したいと思います。茶論21号を
見て東登美ヶ丘のSさんより激励とご意見をいただきました。誠にありがとうございました。

「茶論」への御投稿をお待ちしています。どんな話題でも結構です。気軽に御投稿くださ
い。掲載時、投稿者は匿名扱いとします。原稿は以下の世話人ポストへ放り込んでくださ
い：石田(松陽台 2-16-4 ☎46-0352)、赤沢(鳥見 2-5-1)、秋山(東登美 4-22-19)、藤田(西
登美 4-17-4)、堀江(西登美 1-20-7)、宮田(鶴舞西 2-10-C505)、羽谷(中登美 4-1 ローレル
I-7-204)、森本(西登美 1-22-21)

登美ヶ丘九条の会



自助の民いう意味かしら自民党

危険です「国全体が家族です」

モリカケをほじくならぬ人推す安倍氏



◆ この日本には驚くべき「無知で鈍感な人々」がいる

ドタバタ総裁選で「自民の変人河野」が勝つのかと思いきや、やっぱり安倍をそのまま引き継ぐ岸田が総裁となり、さっそくふるさとの願い『広島黒い金の解明』『核兵器禁止条約への参加』をけっ飛ばした。「無知で鈍感な人々」とはそんな岸田を「新しい政権に期待する」と言う人々だ。何時までだまされると目が覚めるのか？10月31日しっかりと投票したい。(秋山)

◆ このコロナで一番ひどくダメージを受けたのは、音楽、合唱団、劇団等の芸術文化活動をしてきた人々です

公演は勿論練習も出来ず、指導者は倒れ、組織は崩壊しバラバラになりました。

11月6日奈良蟻の会合唱団3年ぶりのコンサート、やっと開催できそうです。ホール50%の入場制限を初め考えられる「安全安心対策」を行って頑張ります。

まだチケット余裕あり、当日券はありません。ご希望は秋山まで・・・



◆ 中野晃一上智大教授の講演「市民と野党の共闘で政治を変える」を聴く (編集者)

10月10日奈良1区市民連合決起集会で、市民連合(「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」)の呼びかけ人の一人である中野晃一さんの講演を聴いた。まず、自民総裁選の「理念も政策もないヤクザの抗争のような権力闘争」のボス間の権力関係図の話、その結果、最大の勝者は3A(安倍、麻生、甘利)と高市で、「安倍・日本会議系の影響力はなくならず、対米追従の安保・経済路線も変わらない」結果に終わった、という導入部に続いて、話の核心に移って行く →

野党共闘にくさびを打ち込み、多くの人に、どうせ変わらないというウンザリ感・無力感をもたせて、棄権者が増えてくれれば自民圧勝は不動である。つまり自民党の勝利の連立方程式は、

1) 立憲野党の分断と2) 低投票率、だということになる、と。その実証と教訓を示すのが次表:

選挙	投票率	絶対得票率(小選挙区)	獲得議席率(全)	獲得議席数(全)
2009.8 麻生自民党惨敗、民主党政権誕生	69.3%	26.3%	24.8%	119
2012.12 民主党惨敗、安倍自民党政権復帰	59.3	24.7	61.3	294
2014.12「消費税増税先送り」解散	52.7	24.5	61.1	290
2017.10「国難突破」解散、希望の党合流騒ぎ	53.7	25	60.4	281

絶対得票率とは、棄権者を含めた有権者全員に対する(自民党)得票率のこと。上表では、投票率が50%台の2012年以後小選挙区で約25%取れば議席は60%強(自公併せて66-67%)を確保して「圧勝」している。投票率(70%)が高い2009年選挙の獲得議席率・数と対照的である。小選挙区制のマジック下では多くの人棄権・低投票率が自民を助けるのである。固定自民支持層は4人に1人(比例区では6人に1人)ーこれで自民は「圧勝」するのである。自民がやるべき仕事はただ一つ:メディア支配と時代錯誤の反共攻撃・謀略ピラを流して野党共闘を分断・阻止するだけでよい。彼の党は、皆さんは棄権してねと舌を出し、ということか! YouTube: <https://youtu.be/PjP9N4m3vNM>

各社世論調査 (10/4-5)

- 「朝日」 安倍・菅路線を「引継がない方がよい」55%; 「引継ぐ方がよい」24%
「生まれ変わった自民党」を「実現できる」24%; 「実現できない」54%
- 「共同通信」 安倍・菅路線を「転換すべきだ」69.7%; 「継承すべきだ」24.1%
- 「毎日」 岸田内閣の顔ぶれに「期待できる」21%; 「期待できない」51%
甘利幹事長人事について「評価する」22%; 「評価しない」54%
- 「読売」 甘利氏起用を「評価する」30%; 「評価しない」48%

